

社会人のための情報システム誌  
— 経営近代化のシステム研究 —

# Computer Report

# 12

2016 No.747

## 3 はじめの言葉

## 4 システムリテラシーと

### 情報リテラシーの欠如

田原文夫

経営統合はしたものの情報システム統合がいまだにできていない。メガバンクだけでなく、鉄鋼、造船、石油化学など、業種業界を問わずに起こっている社会現象のようだ。大企業病ここに極まれりということか。さらにお粗末なのは、合併前の旧組織間で「たらい回しトップ人事」をしている現実だ。トップも含めて、関係者のシステムリテラシー、情報リテラシーが欠如しているらしい。

## 10 情報社会を考える その75

### 情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

#### I have Data! I am Trump! Woo!

1929年の世界大恐慌は、世界中の富がアメリカに集中的に集まってしまったという見方がある。当然にして、アメリカは自国内の経済活性化を求めなくてはならなかった。国民は疲弊していたからだ。そこで打ち出されたのが「ニューディール政策」だと歴史は伝えている。世界的情勢／背景の変化としては、この頃を契機に世界の最有力通貨が米国ドルになり、従前の英国ポンドが、その座から引きずり降ろされたということがあった。今、アメリカはどういう情勢にあるか。金融政策のプロではないので専門的なことは分からないが、世界中で金融緩和策だとして、低金利で金をジャブジャブ、ダブダブと金融市場に出している中で、唯一アメリカだけが、金利上げ政策を取り、来年にかけて、さらにFRB金利を上げるとされている。

## 12 オープンガバメント OG 36

### 情報社会をすすめる その70

水田 浩

1990年代に紙によるワークフローをデジタルにして、メインフレームと端末を使って事務系、技術系で個別に行われるようになり、1995年代にはインターネットが世界中で使えるようになってきた。そして、個別に開発されたシステムをより早く、より安く、より良くつかうために製品やシステムのライフサイクル全体の統合化を模索するようになっていた。そして、産業別、国別のシステムとデータを世界共通にしてより生産性の高いビジネスをするために、世界共通の情報基盤を作らなければならないという認識が世界中で起こっていた。そこで、CALSの一つの製品、システム、サービスを全ライフサイクルで、「情報は一度つくって、幾度も使う」という運動は世界規模で受け入れられた。一つのCALSという概念(言葉)で1995年から2005年に掛けて世界中が一つになって運動を起こすようになった。

## 1 8 連載 アーキテクチャ論 (68)

### O-DA の潮流

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報科学研究科 教授

連載 28 回で Open Dependability Through Assuredness (O-DA) 標準を解説した。本稿では、この O-DA 標準の最新動向について紹介する。具体的には、O-DA の知識構成、O-DA テンプレート、主張間の主張間の優先順位の合意手法、ディペンダビリティ原則定義法、EA に対する保証ケース作成法、保証ケースレビュー手法などについて説明する。

## 2 7 連載 日本再生と人材育成

### 人口減少／少子高齢化時代への挑戦 その 2 3

【最終章】「情報と人材」をテーマに生きた活動歴 (その 2) Dr.ベスト

マルチ人間、スーパー人間などと呼ばれるほどの者ではないが、高度成長時代からバブル崩壊～そして今日に至るまで 4 回の定年退職 (1 回目：企業の早期退職制度に基づく退職 (52 才)、2 回目：同企業の関連会社における定年退職 (60 才)、3 回目：某大学における定年退職 (65 才)、4 回目：別の大学における定年退職 (70 才)) を経験しながらも「情報と人材」をテーマに働き続けてきた男がいる。聖路加国際病院名誉院長などを務められる医師・医学博士の日野原重明先生 (100 才を超えてもなお現役) に比較すると、その足元にも及ばない話ではあるが、その男の生き方は人口減少／少子高齢化時代への対応 (挑戦) に何らかのヒントを与えることができるのではないかと思ひ、その男の半生を「私の履歴書」的に紹介させていただいた。その最終に当たり、今一度その生き方を振り返ってみたい。

## 3 8 IT 新時代とパラダイム・シフト

### 第 8 5 回 トランプを次期大統領に導いた

#### ポピュリストとしてのメディア戦略

根本忠明

米大統領選挙で勝利したのは、想定外のドナルド・トランプ候補であった。今回の大統領選挙はトランプ旋風が吹き荒れ、誹謗中傷に終始した史上最低の選挙戦になった。これを仕掛けたのはトランプ候補であり、TV・新聞メディアと SNS の新旧メディアを巧に操ったのである。トランプ候補のポピュリストとしての希代の才能が、次期米大統領への道を切り開いたといつてよい。今回は、トランプ候補のメディア戦略について検討してみたい。

## 4 1 続インテリジェンスへのいざない 83

### アメリカ人の本音が出た

#### トランプ次期大統領

今井 武

世界中を震撼させているアメリカ次期大統領選の結果である。日本防衛のための軍事削減のためなら日本にも核武装せよと言う。どこまで本気が分からないにしても、あまりにも破天荒である。TPP 脱退も口にしている。近隣諸国、とりわけ中国も歓迎したり、危惧したりと穏やかではないだろう。日本の戦後自国防衛論も見直しが出てくることだろう。

## 4 4 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまチヒロ

## セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における  
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで  
株式会社 日本経営科学研究所  
ComputerReport編集部

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

# CR 選書のご案内

**CR選書**

**改訂版**  
**データ・ウェアハウス**

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**実践データ・ウェアハウス**  
**OLAP**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**消費者行動論**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

aism 研究活動報告  
**インターネットセキュリティの**  
**落とし穴**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修  
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2016年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

エンタープライズ情報システム設計の基本書！  
**トップ主導の**  
**情報システム革新**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**計量モデルの構造と解法**  
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**『いざ！というときの(得)広報』**  
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文化企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**ザ・ワールドリンク**  
がんばれ、国際グローバルサーバー—  
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 発端	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米商チーム崩壊の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たなメンバー
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米商事務所移転と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開発フル稼働とバグハンティング
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番稼働日誌
第八章 米商チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働その一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米商チーム、異なる三人組	第二十章 稼働その二 安眠薬と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)